

## 囲碁にまつわる言葉 【相場】

現在の八王子囲碁連盟の前身は「碁老連」と「碁楽連」です。平成元年に名称が変わったのです。実は、その前に八王子囲碁連盟は存在していました。昭和45年に元の「八王子囲碁連盟」が結成されたのです。この連盟は、日本棋院八王子支部、同東部支部から成り、その後高尾支部と元八支部が加入します。しかし、会員の高齢化や減少によって運営が困難になり、すでに結成されていた碁楽連と平成19年に合併し、「八王子囲碁連盟」は無くなります。

### ----- 【相場】 -----

【相場】とは、ある物事についての世間一般の考え方や評価、または世間並みと認められる程度のことです。互いに納得できることです。市場の高下によって相互間に「さやとり」をなす売買取引のことです。さやとりとは、「高い方を売って安い方を買う事により利益を生みこと」です。

精選版日本国語大辞典には、興味ある説明があります。室町時代の中頃より、売買の仲立ちをする商人である「牙儚(すあい)」が出現するようになり、仲介者が取り決めた価格によって売買が行なわれることが多くなります。「牙儚」と



は、物品売買の仲介を業とする者や、その仲介料を指します。牙儚の価格はもともと「すあい」の集合する場、すなわち「すあい場」で成り立っていたところから次第に協定価格そのものを意味するようになります。やがて転化して「あい場」というようになり、それに「相場」の文字をあてたところから「そうば」の語が生じたという説です。

【相場】は囲碁では、丁度頃合いの良い着手のことで、双方がだいたいの見当で、五分五分の分かれだと認めるような状況を指します。一般市場における物品の取引価格や時価といったことと同じような状態といえます。

{2023年6月26日 大和田同好会 成田 滋}